

第 6 次結城市総合計画 に関する提案書

[ホームページ版]

令和元年 1 2 月 2 3 日
総合計画策定市民会議

はじめに

日本の総人口は平成20年をピークに減少傾向に転じており、今後は世界的にも類を見ないスピードで人口減少と高齢化が進行すると予想されています。

これは本市においても例外では無く、国立社会保障・人口問題研究所では、20年後の2040年には本市の人口が約4万1千人と現在から約20%も減少すると推計しています。

人口の減少、特に生産年齢人口の減少は、経済のみに留まらず我々の社会全体に相当なダメージを与えることが想定されています。すべてをネガティブにとらえる必要はありませんが、これまでのような成長時代の考え方から脱却し、戦略的に縮小社会と対峙する方向にシフトしていくことが求められています。

そのような中、私たち第6次結城市総合計画策定市民会議では、従来型のフォアキャスト（現在からの積み重ねで未来を見通す）の手法ではなく、望ましい未来を考えてその実現のために現在の課題を解決する「バックキャストिंग」思考を取り入れた提案検討を行いました。

具体的には、20年後の2040年の理想の姿をイメージし、その後、次期総合計画の計画期間である10年間、2030年までに「何を」「どの程度」進めておくべきかについてグループワークセッション形式で議論しました。

また、本市民会議と並行して開催された結城第一高等学校生・鬼怒商業高等学校生・結城看護専門学生による提案プロジェクトの内容も確認し、今後の結城市を担う若い世代の意見を私たちの提案の参考としました。

地方自治体は、地域の人口が減少し、財政の逼迫や硬直化に直面するなかで、市民サービスや安全・安心な市民生活を如何にして維持していくか、その在り方を変革するターニングポイントに立たされています。

私たち市民も自治体からのサービスを要求するだけでなく、社会をより良くするために、地域の事を熟知している者たちが連携して、積極的に活動していくことが重要であると考えています。

このような背景のもとに、市では、第6次総合計画策定方針において、「市民参加による総合計画づくり」を掲げています。この方針に沿って、本策定市民会議は設置され、全4回による市民目線の検討を行い、今後のまちづくりに特に必要と思われる提案を建設的に議論し、本提案書としてとりまとめました。

市でも、この提案書を十分に検討したうえで第6次総合計画を策定し、私たちが安心して暮らすことが出来る持続可能なまちづくりを進められるよう期待いたします。

第6次結城市総合計画策定市民会議一同

市民会議 提案

【保健・福祉】

健康・医療，地域福祉，児童福祉・子育て支援，高齢者福祉，障害者福祉，低所得者福祉，母子・父子福祉など

子育て支援

○望ましい未来

子どもたちが安全に遊べる場所が確保されている，親同士のコミュニケーションが容易に図れるなど，安心して子育てできる環境が整っている

●提案項目

①子育て支援の充実

- ・子育て支援センターを毎日オープンする
- ・地域子育て支援拠点（児童館等）の整備
- ・子ども手当の増額など，結城市独自の子育て支援策を充実させる
- ・若い親を増やすためにユニークな子育て支援策を検討・実施する

②子育てしやすいまちへ

- ・子どもたちと触れ合うイベントを増やす
- ・自然豊かな子育て環境を作りPRする
- ・子どもたちの居場所づくり（のびのびと遊べる・いつでも安全に遊べる・ボール遊びができる・おしゃべりができる場所や屋根付きの遊び場等）
- ・仲人を増やそう！おせっかい爺さん・婆さんを増やす
- ・婚活イベントを充実させる

③子どもの成長を見守る環境づくり

- ・子どもを守る条例の制定を目指す
- ・子ども食堂を多くつくる
- ・子どもの貧困（親の貧困）対策を充実させる ※低所得家庭への支援拡大

○望ましい未来

元気で長生きな高齢者が多く、勤労や社会貢献などに意欲を燃やしている。また、買い物や病院、交通などの高齢者支援が充実し、安心して生活できる環境が整っている

●提案項目

①高齢者の体力向上

- ・筋力アップトレーニング事業の推進
- ・介護予防体操普及事業の推進
- ・健康長寿のための生涯スポーツ、スポーツロジック※の推進
(※医学とスポーツを融合した新しい学問領域。語源は sports+logic)
- ・高齢者に対する食事栄養指導などを充実させる
- ・ラジオ体操を日課にし、体力向上を図る

②高齢者の生きがいづくり

- ・高齢者サロンの充実
- ・高齢者対象の教養講座・SNS※講座などを開催する
(※social networking service の略。インターネットを介して人間関係を構築できるパソコン・スマートフォン用サービスの総称)
- ・地域の子どもたちと高齢者の交流の場をつくる
- ・認知症を正しく理解する機会を提供し、増加する高齢者の社会的理解を促進

③高齢者の定義の見直し

- ・65歳過ぎても元気な方は多い。高齢者の定義（年齢）を引き上げる
- ・60歳以上の隠居は早すぎる

④高齢者の働く機会を増やし、ますます元気に

- ・高齢者の働く場をつくる（生きがいづくり）
- ・高齢者への就労あっせんを強化する（就労あっせん所の設置）
- ・元気な高齢者には積極的に仕事をしてもらう（副業・兼業）
- ・年金受給開始年齢を引き上げ、起業を促す

○望ましい未来

病気になっても、すぐに病院に行ける環境が整っている。また、在宅や訪問医療など多様なサービスを選択できる環境が整っている

●提案項目

①安心して生活できる環境づくり

- ・高齢者の通院などの送迎サービスを充実させる
- ・病院に行くのではなく、病院が患者宅へ出張する（訪問医療の充実）
- ・災害時の障害者、高齢者の医療介護支援を強化する
- ・圏域内の自治体の医療・介護サービス供給体制を確立する
（小山市・結城市・自治医科大学・獨協医科大学）

【都市・環境】

市街地整備，住宅，公園・緑地，農村整備，道路・交通，防災，防犯，消防・救急，上下水道，環境保全，ごみ処理など

安全・安心なまちづくり

○望ましい未来

頑強な平地に立地する地域特性を活かす一方，防災・災害対策を充実させることで，地震や台風などの大規模な自然災害のリスクに対しても，安全に生活できる環境が整っている

●提案項目

①災害に強いまちづくり

- ・新庁舎を拠点とした防災体制の整備
- ・新庁舎の防災機能強化（電気・上下水道・通信網がストップした場合も想定）
- ・安全で利便性の高いまちを目指す
- ・治水対策など，市から国・県への働きかけを強化する

②災害に備える

- ・自主防災組織を増やす
- ・災害時でも正確に情報を伝達できる手段を確保する
- ・地震・水害・台風などの災害時に，市民がどのように行動したらよいか，周知を充実・強化する

市街地整備

○望ましい未来

市の北部は歴史的なまち並み，駅南部・北西部の区画整理地内は整然とした住宅地など，エリアごとに特色ある市街地が整備されている

●提案項目

①北部市街地の活性化

- ・古いまち並みを保存するために伝統的建造物群保存地区※の指定を受ける
(※歴史的な集落・まち並みの保存を計画的に進めることを定めた地域)
- ・北部市街地のまち並みを保存する制度を創設する
- ・看板の囲いを外し、瓦屋根が見えるようにしてレトロタウンを演出する
- ・まち割りの整理。地番の整理（区画整理）
- ・結城市〇〇町。字の復活。行政区を住所に使用するなどで、市民の交流を促す
- ・今のまち割りを生かした静かなまちづくり
- ・路地を保存できる仕組みを構築する（結城らしい景観を守る）
- ・市役所跡地の有効利用（歴史資料館の建設など）
- ・旧公民館跡地の有効利用（芝生を植えイベントなどに開放できる、グランピング※等宿泊型の体験ができるなど）
(※自然環境の中でホテル並みの快適なサービスが受けられる新しいキャンプスタイル。語源は glamorous+camping)
- ・北部のまちづくりを皆で考える場を創設する

②暮らしやすい環境の提供

- ・景観やみどりに配慮した魅力あるまちづくりを推進する
- ・空き家をコミュニティスペースに改修する
- ・住みやすいまちをPRし、区画整理地の空き地、空き家をなくする
- ・IT環境は都会並み、生活環境は田舎の良さをPRする
- ・市民が集まれる場（おしゃべりカフェなど）をつくる

③コンパクトなまちづくり

- ・住居・病院・学校などを集約していく
- ・拠点間を走る公共交通を充実させる
- ・車が無くても生活できるまちを目指す

④空き家対策

- ・危険な空き家の取り壊しを促進する
- ・空き家を利用して居場所（サークル的）を提供する
- ・空き家をリフォームし宿泊施設（民泊など）を整備する
- ・空き家リフォームを学生に提案してもらう
- ・空き家の利活用を促進（行政が積極的に関与する。情報は市民が集める）

○望ましい未来

歩道・車道・自転車が、それぞれが安全に通行できる環境が整っている。また、公共交通や自転車の活用などにより、自動車が無くてもさほど不自由なく生活することができる。

●提案項目

①道路・交通網の整備

- ・道路の段差を無くすなど、歩行者にも優しい道路整備を進める
- ・通学路の整備を推進する
- ・歩行者、自動車の両者にとって安全な道路の整備を促進する
- ・歩行者空間を確保する
- ・街中に自動車規制をする
- ・ゆったり歩けるまちづくりを推進する
- ・自動車の速度制限を警察が実施する
- ・都市計画道路3・4・18号線の整備を促進する
(旧市内へのアクセス・用地の提供等)

②公共交通などの充実

- ・コミュニティバスで、市内の各所を結ぶルートを創設する
- ・乗り合い自動車の普及を推進する
- ・カーシェア・自転車シェアを推進していく
- ・水戸線利便性向上①（終電をもっと遅く）
- ・水戸線利便性向上②（結城～下館間を増発）

③自転車の走行環境整備・利用促進

- ・安全・環境を考えマイカー通勤から自転車へ
- ・自転車がたくさん乗られているまちを目指す（道路を良くする）
- ・自転車の走行帯を整備する（歩道・自転車道の幅員を確保）
- ・駐輪場を整備する
- ・安全走行・マナー等に関する教育及び周知を強化する
- ・高齢者でも安全に自転車に乗れる環境づくりを進める

【産業・観光】

農業，都市と農村交流，工業，商業，観光，伝統産業，雇用，消費生活など

観光

○望ましい未来

結城らしいまち並みに加え，名産品・特産品・おいしい食事・結城筑波などの観光資源が充実し，平日でも観光客が訪れるにぎやかなまちとなっている

●提案項目

①観光力を強化し観光客を増やす

- ・観光の目玉をつくる（１０年かけて）
- ・結城市観光協会を法人化し，稼げる観光に取り組む
- ・観光資源展示・資料保管のため結城歴史博物館をつくる
- ・観光客増大のため観光入込客数の増大を目標にする
- ・観光ボランティアガイドを６年間で倍増する
- ・北部市街地に大型バス駐車場と大型トイレを整備する
- ・駐車場（無料）を整備し，そこを拠点に徒歩や自転車で観光できるようにする
- ・宿泊先（施設）を充実させる ※民泊可能な施設をリスト化する
- ・見世蔵など結城らしい建物を改修し，オール結城を体験できる宿泊（民泊）施設にする
- ・商業観光計画に掲げた目標の達成のため，積極的に観光事業を推進（予算確保を含む）する

②情報発信の強化

- ・観光情報をＳＮＳで大量に発信する
- ・観光情報を一本化する
（市の組織の縦割りをなくする。部門別に発信せず一本化）

③観光資源の発掘・充実

- ・結城が持つ地域資源の再考や，時代にあった観光名所をつくることで「結城らしさ」に磨きをかける
- ・国指定の「結城廃寺跡」などの文化財を観光につなげる
- ・全市域で観光資源を掘り起こし，観光メニューを充実させる

- ・体験型・滞在型の観光（農業・結城紬・座禅など）を充実し，結城に何かをしに来る人を増やす
- ・石田正宗※（日本刀）を複製し展示する
（※石田三成から結城秀康がもらった日本刀）
- ・結城城跡にやぐらを建て結城筑波を見えるようにする
- ・結城城跡に四季の植物を植えて，さくら祭，あじさい祭，さるすべり祭，もみじ祭，越前すいせん祭を行う
- ・結城城の時代別模型をつくり展示する
- ・大河ドラマを誘致する
- ・健田まち（11月）を復活させる

結城紬の振興

○望ましい未来

国の重要無形文化財であり，ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「結城紬」は本市が誇る伝統文化・産業であり，この「結城紬」を中心としたきもの文化が将来にわたり引き継がれている

●提案項目

①きもの文化の継承

- ・普段からまちできものを着られる環境づくり
- ・きもので散歩する日を月に○日（固定）にして実施する
- ・結城紬だけにこだわらず，多くの人にきものを着てもらえるようにする

②結城紬のP R

- ・ユネスコ無形文化遺産登録の標示を設置する
- ・結城紬の体験事業のP Rを強化する（染め・織り・着付けでまち歩きなど）
- ・文化財としての結城紬をP Rする
- ・結城紬をより大衆的にする（小物のP R）

商業

○望ましい未来

空き店舗が減少し，商店街にも活気が戻っている。また，新しい働き方にも柔軟に対応できる環境が整い，起業や創業する人が増加している

●提案項目

①買い物支援・空き店舗対策

- ・空き店舗のシャッターを開けられるような仕組みを構築する（公的機関が仲介を行う仕組み等）
- ・買い物難民を無くすため，宅配サービスなどを充実させる
- ・創業支援策を充実させる

農業

○望ましい未来

大消費地・東京近郊という地の利を活かし，安定的に大量の農作物を出荷し続ける一方で，製品のブランド化や観光利用などを推進し，他の産地との差別化が図られている

●提案項目

①力強い農業の推進

- ・農業をもっと法人化，集約化し，休耕地を少なくできる
- ・結城の特産農産物を6次産業化する
- ・農産物を結城に向けた品種改良をする
- ・新規就農者（若者）を増加させる
- ・新規就農者への技術支援体制をつくる
- ・市の基幹産業として積極的に農業関連事業を推進（予算確保を含む）し，全国でも有数の産地を目指す

②PRの強化

- ・製品のブランド化，他の産地との差別化を図り，SNS等で積極的にPRする

③観光農園の取り組み

- ・種まきや収穫などの農業体験を充実させる
- ・都会に住む人向けの貸農園を開始する
- ・観光農園の管理・指導スタッフ体制をつくる
- ・観光農園・貸農園を試験的に1地域ではじめ、段階的に増やしていく
- ・市民農園（結城市民が対象）を設置し育成する

【教育・文化】

学校教育，生涯学習，地域教育・青少年の健全育成，芸術・歴史・文化，スポーツ・レクリエーション，男女共同参画・人権，国際交流・地域間交流など

学校教育

○望ましい未来

少子化でも，ある程度の学校規模を確保し，子どもたちが切磋琢磨することで生きる力と学力の向上が図られている

●提案項目

①学習環境の充実

- ・学園都市を構築し，勉学のまちを目指す
- ・英語教育（スピーキングを含む）の充実
- ・英会話やプログラミングを楽しく学べる環境づくり
- ・電子書籍など，ＩＴ教育環境を充実させる
- ・地域の特性にあった学校づくり
- ・小学校で，地域が運営する放課後活動を実施する
- ・スポーツサークル活動の場を増やす
- ・高等学校の再編を目指す（他にはない結城地区独自の学科を新設する）

②小中学校の規模適正化

- ・小中学校の統廃合，小中一貫校の創設を目指す
- ・学校のプールの集約化を図る
- ・スクールバスを検討する（生徒・児童の運動する機会が減少し，体力が落ちてしまわないよう配慮する）

③多世代交流の推進

- ・定期的に三世代交流の授業を行う（学校またはコミュニティセンターで）
- ・小中学校での福祉教育を充実させる
- ・小中学校で結城の歴史の学習時間をとる

○望ましい未来

地域で子どもたちを見守り，育てる気風に満ち，地域交流が促進されたなかで，多世代交流や地域住民とのコミュニケーションが図られることで健やかな心と体が育まれている

●提案項目

①地域交流・交流の場づくり

- ・子どもたちが結城市に良い思いを残せるような事業の推進（郷土愛の醸成）
- ・生涯スポーツを充実させる
- ・みんなでラジオ体操することで多世代交流を図る
- ・ラジオ体操を週1回以上，全市をあげて取り組む（防災無線で流す）

○望ましい未来

北部市街地の歴史的なまち並みや古くから伝わる技術・文化を継承し，これらを核とした地域愛の醸成を図ることで，市民に愛されるまちとなっている

●提案項目

①歴史的まち並みの保存・活用

- ・歴史的まち並みの保存に関する制度を拡充する
- ・市役所跡地の有効利用（歴史資料館の設置など）
- ・歴史・文化資料館の整備（貴重な資料を保存する場所の確保）

②新しい文化を創造し，まちの誇りをつくる

- ・音楽を楽しむイベントを開催する（結城市＝ジャズのようなイメージを）
- ・音楽のフェスティバルやジャズフェスなどを開催する
（市外県外からも遊びに来てもらう）
- ・音楽の街＝結城フェス 年に1回開催する（祭りゆうきとコラボ）
- ・若者（学生）のイベント参画を促し，地元への愛着を育む
- ・クイズ大会など，特色あるイベントを若者に企画してもらい，みんなでサポートする

○望ましい未来

外国人を労働力として受け入れるのではなく、互いの文化や習慣を理解しあい、地域の一員として支え合う土壌を培うことで、地域の活力を維持することができる

●提案項目

①相互交流の促進

- ・外国人を大切にする環境づくり（いじめ等の撲滅）
- ・外国人が主役のイベントをつくる
- ・外国人との交流の機会を多くする（子どもから大人まで）

②日本語教育，相談窓口の充実

- ・外国人児童を支援する事業を拡充する
- ・学校生活を含む就学全般の支援を強化する
- ・外国人の子どものための日本語学習補助を実施する
- ・外国人向けの日本での生活の丁寧な説明を支援する
- ・外国人の日本語教育を充実させ，共生社会への移行を促進する

③外国人人材の活用

- ・会話・交流を重視した英語教育を充実させる
- ・外国人と一緒に学ぶことで国際感覚を身に着ける
- ・医療・介護分野の外国人技能者の活用と交流促進
- ・中小企業の事業継承を，外国人を含めて実施する

④ボランティアの育成

- ・国際交流活動に取り組むボランティア人材を育成する
- ・国際交流活動を行う個人や団体の連携を促進させる

【自治・行財政運営】

市民参加，コミュニティ，ボランティア，行財政改革，地方分権，広域連携，行政サービス，情報公開・個人情報保護など

自治

○望ましい未来

人口減少・高齢社会の中でも，地域のつながりが維持され，互助の取り組みなどにより安心した生活ができています

●提案項目

①地域コミュニティの活性化

- ・町内会を今後に残し，市民生活が生き生きするようにする
- ・ボランティアを募る組織をつくる
- ・地元企業が地域の一員として地域活動・街づくりに積極的に参加してもらう
- ・アパート居住者でも地域活動しやすい環境づくりを推進する
- ・空き家を利活用した居場所づくり
- ・自治会毎に小さな委員会形式で意見を言える環境をつくる

②地域互助の促進

- ・おせっかいすることが許される心を育む
- ・町内会のつながりを強化する（ゴミ出し・送迎の互助）
- ・宅配サービス業者と地域の連携を促進する
- ・地域住民間の助け合いのシステムをつくる
- ・近所の助け合いを促進（結いの心を育てる）
- ・住民による自治条例などを検討する

○望ましい未来

ＩＣＴ※やＡＩ※の活用による事務効率化，自主財源の確保などにより必要とされる市民サービスの水準を維持できている

●提案項目

① ＩＣＴの推進

- ・ 公共施設や商店に無料の Wi-Fi を設置する
- ・ テレワーク※などにより市外へ通勤しなくても仕事ができる環境を整備する
- ・ ＡＩ，ＲＰＡ※，オープンデータ※などに積極的に取り組み，事務効率化等を図る
- ・ ５Ｇ※などの最新技術を導入し，行政サービスを向上させる

② 自主財源の確保

- ・ ふるさと納税などを強化し自主財源を確保する
- ・ 企業が存続できるよう税金の優遇措置を実施する

③ 情報公開の推進

- ・ 紙，インターネットなど，媒体の特性に合わせた行政情報の周知を行う

※用語解説

- ・ ＩＣＴ Information and Communication Technology（情報通信技術）の略
情報処理だけではなく，インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称
- ・ ＡＩ Artificial Intelligence（人工知能）の略
- ・ テレワーク ICT を活用した，場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと
tele（離れた所）+work（働く）の造語
- ・ ＲＰＡ Robotic Process Automation の略
デスクワークをソフトウェア型のロボットが代行・自動化する概念
- ・ オープンデータ 国，地方公共団体及び事業者が保有する官民データを，一定の条件の下でインターネット等を通じて容易に利用できるようにする取り組み
- ・ ５Ｇ 5 Generation（第５世代移動通信システム）の略
携帯電話などの通信に用いられる次世代通信規格のひとつ

移住・定住

○望ましい未来

新幹線を利用すれば東京から約 60 分のアクセス，区画整理等により整備された住環境，ＩＴ環境の充実や生活利便性などを内外にＰＲすることで移住者・定住者の増加を目指している

●提案項目

①シティプロモーションの強化

- ・新しい人が住み移りやすい環境整備（家・仕事・学校・お店）
- ・結城の魅力を多くの人に伝達できるよう官民協働の仕組みを構築する
- ・ＪＲ水戸線の結城～友部間の街に誘客できる仕掛けをする
- ・隣接市より安価な地価をＰＲ材料として利用する

②若者を呼び込む

- ・駅前などに若者（学生など）が集まれる場所をつくる
- ・【結城看護専門学校】生徒数を増やし若者を呼び込む。市民等と接する機会をつくる。学生に結城市のことを知ってもらう機会を増やす
- ・大学誘致などを検討し，若い世代の獲得を目指す
- ・宣伝（ＰＲ）を強化する（いろいろやっている内容を知ってもらう）